

(様式第2号)

## 福祉サービス第三者評価結果報告書

事業者名 (有)ケアサービス研究所デイサービスコスモス  
評価実施期間 平成26年4月2日～平成26年 8月末日

### 1 評価機関

名称	NPO法人 自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島市星ヶ峯4丁目2番6号

### 2 事業者情報

[平成26年 4月30日現在]

事業所名称: デイサービスコスモス	サービス種別: 通所介護
開設年月日: 平成 15年 6月 30日	管理者名: 内村 浩人
設置主体: 有限会社ケアサービス研究所	代表者職・氏名: 代表取締役 柳川 ケイ子
経営主体: 有限会社ケアサービス研究所	代表者職・氏名: 代表取締役 柳川 ケイ子
所在地: 〒899-5544 鹿児島県 始良市 大山300番1	
連絡先電話番号: 0995-66-3210/090-7380-2424	FAX番号: 0995-66-3210
ホームページアドレス	Eメールアドレス
	sp398bd9@galaxy.ocn.ne.jp

### 基本理念・運営方針

#### 基本理念

「やさしく あたたかく あなたの気持ちに 寄り添います。 地域の中で その人らしく 暮らし続ける事を支え その人の人生が 継続していけるよう 支援します」

#### 運営方針

1. 当事業所において提供する通所介護は、介護保険法及び関係する厚生労働省令、告示の主旨及び内容に沿ったものとする。
2. 利用者的人格を尊重し常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、利用者及びその家族のニーズに的確に捉え、個別に通所介護計画を作成することにより、利用者又はその家族に対し、サービス内容及び提供方法についてわかりやすく説明する。
3. 適切な介護技術をもってサービスを提供する。
4. 常に提供したサービスの質を管理、評価する。
5. 居宅サービスが作成されている場合は、当該計画に沿った通所介護を提供する。

### [利用者の状況]

定員	25 人	利用者数	42 人
----	------	------	------

※施設種別ごとに、利用者の年齢階層、利用期間、障害の程度・内容など、そ  
利用者の年齢階層

年齢区分	～64歳	65～74歳	75～84歳	85～94歳	95歳～
人数(人)	0	2	16	22	2

### 要介護区分

区分	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
人数(人)	0	1	0	8	7

区分	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	12	10	4

[職員の状況]

職種	勤務区分				※常勤換算	※基準職員数
	常勤(人)		非常勤(人)			
	専従	兼務	専従	兼務		
管理者	1	0	0	0	1.00	1.0
生活相談員	1	4	0	1	1.43	1.0以上
看護職員	0	0	0	2	1.20	1.0以上
介護職員	0	13	0	11	5.80	3.0以上
機能訓練指導員	0	0	0	2	1.20	1.0以上
前年度の採用・退職状況	採用	常勤	2人	採用	非常勤	3人
	退職	常勤	0人	退職	非常勤	0人
○常勤職員の当該法人での平均勤務年数					4.04年	
○うち直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数					4.04年	
○常勤職員の平均年齢					44.1歳	
○うち直接処遇に当たる常勤職員の平均年齢					44.1歳	

※常勤換算数及び基準職員数は、当該職について、運営基準等で定められている場合のみ記入してください。

### 3 評価の総評

◇特に評価の高い点

☆サービスの向上に対する意識が高く、本県では最も早い時期に第三者評価の実施をした事業所の一つで今回が3回目の受審となっており、職員の意識高揚が顕著にみられる。

☆デイサービスコスモスは、山と田園に囲まれた自然豊かな環境の中にあり、四季の移り変わりを目で見、肌で感じ心豊かな生活ができる場である。

☆事業所では、地域自治会の役員を引き受けたり、高齢者宅訪問、地域住民の相談窓口、地域へのボランティア活動、介護・認知症についての講師の引き受けなど事業所の機能を地域に提供し、地域の福祉の推進に寄与している。

☆職員の資質向上・資格取得など人材育成にも計画的に取り組み、適材適所の人材配置をしてサービスの向上に努めている。

☆事業運営は、理念・基本方針・中長期計画に基づき、職員・利用者に分かり易い形で推進されている。

◇改善を求められる点

☆事業所の情報発信は、コスモス便りや校区社協だより「いきいき山田」などでなされてはいるが、インターネットのホームページを作成する等取り組みがあると更に地域や利用希望者等への便宜が図られる。

☆デイサービスコスモスのパンフレットは、利用者の視点に立ち図や写真などを活用し、分かり易い工夫があると一段とより良いものなる。

4 第三者評価結果（共通項目）（別紙）

5 利用者調査の結果（別紙）

6 事業者の自己評価結果（別紙）

7 第三者評価結果に対する事業者のコメント

丁寧且つ、複数人の知見ある評価員により審査頂き、感謝している。様々なニーズの利用者様、ご家族様皆様に、満足して頂くのはとても難しい事であるが、第三者評価を受審する過程で、自らのサービスの在り方や資質について、多方面から自己評価し、見直すことができ、より質のよいサービス提供のために前進していることを実感することができた。

事業所職員は、資質向上・資格取得に努めるほか、他職種連携に力を入れ、ケアマネージャーや看護師、医師、ご家族、地域自治会、民生委員、市職員の皆様との情報交換をし、利用者様・ご家族様のニーズの理解とケアに努めている。社会的ニーズも多様化、深刻化する中、福祉の在り方と事業の方向性に共感頂き、取り組みに称賛、励まし頂き、感謝している。

頂いたご助言の具体的内容としては、広報活動の工夫の一つとしての「ホームページの作成」についてであった。当事業所のよりよいサービスの充実と多くの皆様へのサービス提供の機会を作り、社会への還元が可能であるという意味でも、貴重なご助言として大変有り難く、職員と話し合いをもち、計画しているところである。

第三者評価結果を受け、更なる質の高いサービス、体制の為にご示唆を頂き、多様化、高度化するニーズに今後も応えていけるように研鑽していきたい。